



これまで燃やしていたプラスチックが価値ある資源へ

4月から「100%プラ製品」も資源ごみへ

これまで、資源として出せるプラスチックはマークのついた「プラ製容器包装」だけでした。そのため、バケツやハンガーなどの「100%プラスチックでできた製品」は可燃ごみとして燃やすしかありませんでした。

しかし、この4月からはこれらも「プラスチック類」としてまとめて回収し、リサイクルできるようになりました。

実はもったいない？ 可燃ごみの中身

実は、可燃ごみの中にリサイクル可能なプラスチック資源が約13%含まれています。

さらに、今回新たに出せるようになった「プラ製品」がごみ全体の約5%含まれていることが分かります。これらをしっかり分別するだけで、市の可燃ごみを減らすことができます。

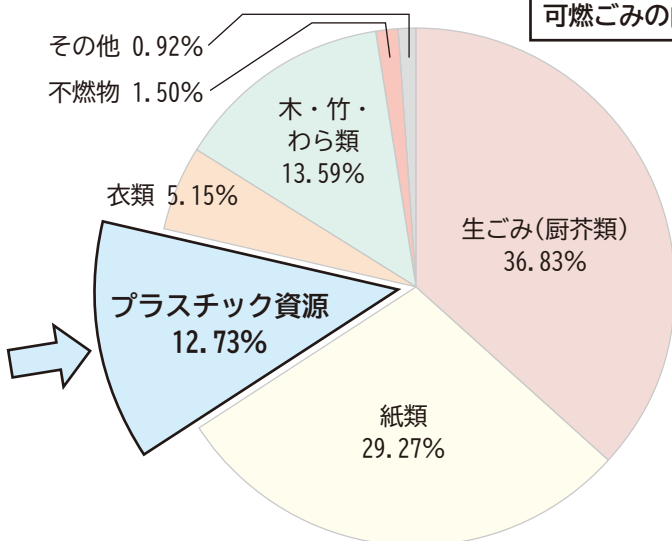
海や環境を守るため、県内でもいち早くスタート

近年、海洋プラスチックごみなどが世界的な問題となっており、国もプラ製品のリサイクルを強く推進しています。

市ではこの動きを受け、県内でもいち早く検討を進めてきました。これまでプラ製容器包装のリサイクルでお世話になってきた富山市の(株)富山環境整備と連携し、新たなリサイクルの仕組みをスタートさせます。

「どんなプラ製品なら出していいの?」と迷ってしまう方のために、次のページで実際に出せるものの例をご紹介します。

飛騨市の家庭系
可燃ごみの内訳



■全体の内訳

	ごみ質量kg	割合	想定量 t
生ごみ(厨芥類)	45.07	36.8%	1,261
紙類	35.82	29.3%	1,002
プラスチック資源	15.58	12.7%	436
衣類	6.3	5.1%	176
木・竹・わら類	16.63	13.6%	465
不燃物	1.83	1.5%	51
その他	1.13	0.9%	32
計	122.36	100.0%	3,423

■プラスチック資源の内訳

	ごみ質量kg	割合	想定量 t
ペットボトル	0.71	0.6%	20
プラ製容器包装	8.60	7.0%	241
プラ製品	6.27	5.1%	175
計	15.58	12.7%	436

それ、プラスチック資源です。 プラ100%製品はこれ!

お風呂・洗面用品



文房具など



台所用品



収納用品



おもちゃなど



屋外用品



梱包用品



指定ごみ袋をしばって出すことのできない大きなものは
「粗大ゴミ」になります。
飛騨市リサイクルセンターに直接お持ち込みください。

分別・収集の現場から



飛騨市シルバー人材センター
すなだ ようこ
砂田洋子さん

■プラスチック類の一括回収で大きく
変わった点は何でしょうか？

100%プラ製品であれば一緒にして出せるようになった
ことで、家庭での分別やセンターでの仕分けが楽になった
と思います。

■市民の皆さんに特に注意していただきたいことは？

仕分けの現場では、プラ製品がスーパーの袋などにまと
めて入れてありますと、たとえ正しく分別されていたとし
ても、やはり中身を確認しないといけないので、袋を破い
て見る必要があります。確認しやすいよう、まとめずにバ
ラして出していただけると助かります。

また、別の資源になるペットボトル、可燃ごみにするよ
うな汚れのひどいもの、50cmを超える大きなものがそのま
ま入っていることもあります。

汚れを洗って落としたり、大きなものは切るなど、分別
や出し方などについてはルールを守っていただくようお願い
します。



環境課
かわかみ ひろき
川上弘樹さん

■回収されたプラ製品の現状は？

4、5月の指定ごみ袋でのプラ製品の
回収量は、昨年同月より増えており、市民の皆さんへ徐々
に浸透していると考えています。

■プラスチック類の一括回収に期待すること

可燃ごみの中から100%プラ製品が減ることで、可燃ご
みの量および、埋め立てるしかない焼却灰の量が減ること
が想定され、未来の環境負荷の軽減につながります。また、
リサイクル可能なプラスチック資源の量が増えることで、
循環型社会の実現に近づくことを期待しています。

■分別の判断に迷った時は？

ご家庭にある「ごみ分別収集カレンダー」に、プラスチ
ック類の分別方法や出し方を記載していますのでご確認く
ださい。また、ごみ出し支援アプリ「さんあ〜」内の「分別
帳」でも、品目ごとに分別方法を確認することができます。
それでも分別に迷うときや、記載のないものの分別方法に
ついては、環境課へ直接お問い合わせください。

プラスチックは豊かな資源 リサイクルで 生まれ変わる

私たちが分別し、市によって回収された「プラスチック類」は、(株)富山環境整備へ搬入され、再資源化されます。それらは、さまざまなプラスチック製品の原料となる「ペレット」になり、私たちの身近にあるプラスチック製品に生まれ変わっています。



受入工程

(株)富山環境整備 ^{あめ きょうへい} 飴恭兵さん

■飛騨市のごみ分別の印象は？

飛騨市からのプラスチック資源は、市民の皆様のご協力により、きれいで異物も少なく、リサイクルしやすい状態です。引き続きご協力をお願いします。

■プラスチック類一括回収で大きく変わった点は？

これまで可燃物として出されていた100%プラ製品もリサイクルできるようになりました。飛騨市の分別方法に沿ってきれいな状態で排出していただけるとリサイクル率の向上やリサイクル製品の高品質化につながります。適切な分別をお願いいたします。



【プラスチック類の資源化の流れ】



開梱・解砕工程

プラスチックのバール(圧縮した塊)をほぐして細かく破碎します。



選別工程

専用機械によってプラスチックを素材ごとに自動で選別します。



破碎・洗浄後

さらに細かく碎き、プラスチックを洗浄します。



プラスチック資源から生まれた製品

うちわ



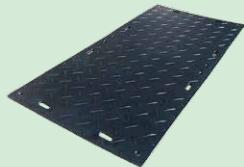
ブレスレット



植木鉢



パレット



プラスチック板



ごみ袋



リサイクルペレット

プラスチック原材料が完成しました。この後、様々な製品に生まれ変わります。



造粒工程

プラスチックを小さい粒(ペレット)状に加工します。